

福井藩の藩校 明道館、明新館

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 平成29年7月21日(金)～
9月18日(月)(祝)
- 休館日 8月28日(月)、29日(火)

幕末維新期の福井藩には、橋本左内や由利公正をはじめとした俊才が数多く育ち、全国各地で活躍しました。福井藩がこうした人材を次々に輩出できたのは、16代藩主松平春嶽（慶永）による教育改革が功を奏したからでした。本展では、春嶽が創設した藩校「明道館」、そして維新後に名前を変えた「明新館」に関する資料を展示しました。また、藩校の整備に大きな役割を果たした橋本左内やグリフィスなどの資料もあわせて展示しています。福井の人材育成にかけた、春嶽らの理想と情熱をご覧ください。

第一章 明道館 ～文武両道をめざして～

安政2年（1855）、福井藩の学問所が再興・改称され、藩校「明道館」として再スタートしました。春嶽は文と武、つまり学問と武芸を修めることが「政道の基本」、「士たる者の専務」と考え、藩士に文武の修行を義務づけました。また、春嶽は儒学の祖である孔子をあつく信奉しており、館内では礼讓や忠孝といった儒学の考えに基づく人間教育を行わせました。安政4年には橋本左内を館の「学監同様」に任じ、西洋の学問や技術の導入に力を注ぎました。さらに、翌5年には熊本から儒学者横井小楠を招き、「学政一致」を掲げて藩の政治を担うことのできる人材の育成を進めさせました。このように、春嶽が幕末期に進めた教育改革とは、儒学的な教育理念と洋学の先進性を組み合わせる「和魂洋才」的なものであったといえます。そして、明道館は藩内の学生・師範・諸学問を統合する、藩士教育の中心機関として位置づけられたのでした。こうした積極的な政策により、明道館は短期間のうちに充実した学舎へと成長していきました。



横井小楠「学校問答書」〔写〕 当館蔵



松平春嶽筆「孔子神位」書幅
福井市春嶽公記念文庫

第二章 明新館 ～文武学校から近代的学校へ～

明治二年（1869）の版籍奉還にともない、明道館は「明新館」と改称されました。明新館においても文武両道の教育方針が引き継がれ、「文学・数学・武学・歩兵・砲兵・剣・柔」の7科目をまんべんなく学ぶ「普通ノ学」の修得が藩士たちに義務づけられました。また、明新館での教育は、外塾（7,8歳～12歳）→小学校（13歳～16歳）→中学校（17歳～20歳）とする、ピラミッド型の学校体系ができました。さらに、明治四年には学制改革が実施され、庶民にも小学校・中学校への進学が許されるようになりました（それまで、庶民は外塾での教育のみ許されていました）。春嶽が学生たちに求めたのは、新たな時代を生きるに必要な高い教養と頑健な身体を兼ねそなえ、全国各地で活躍しうる有能な人材となることだったのです。



松平春嶽筆「明新館」扁額 明新会所蔵（当館保管）



スナイドル銃 当館蔵

企画展「福井藩の藩校 明道館と明新館」展示目録

No.	資料名	員数	年代	所蔵
第一章 明道館 ～文武両道をめざして～				
1	横井小楠「学校問答書」〔写〕	1冊	嘉永5年(1853)3月	当館蔵
2-1	松平春嶽筆「孔子神位」書幅	1幅	安政2年	福井市春嶽公記念文庫
2-2	春嶽真筆の証明書	1点	明治26(1893)年10月27日	当館蔵
3	御記文科目年中行事付外塾共	1冊		松平文庫(福井県立図書館保管)
4-1	旧福井藩学制沿革取調書	1冊		松平文庫(福井県立図書館保管)
4-2	明道館文武合併之図	1枚		松平文庫(福井県立図書館保管)
4-3	明道館之図	1枚		松平文庫(福井県立図書館保管)
5	惣武芸所御用留抜書	1冊	安政4(1857)年～同5年	松平文庫(福井県立図書館保管)
6	明道館試策	1冊	安政4(1857)年2月	松平文庫(福井県立図書館保管)
7	橋本左内遺愛の古銅文昌星像	1像	安政4(1857)年	当館蔵
8	明道館御用留抜書	1冊	安政2(1855)年～同5年	松平文庫(福井県立図書館保管)
9	橋本左内宛村田氏寿書翰	1巻	安政4(1857)年9月26日	福井市春嶽公記念文庫
10	橋本左内宛伊藤友四郎・榊原幸八書翰	1巻	安政5(1858)年7月18日	福井市春嶽公記念文庫
第二章 明新館 ～文武学校から近代的学校へ～				
11	松平春嶽筆「明新館」扁額	1面	明治2(1869)年	明新会所蔵(当館保管)
12-1	明新館開館之節御式	1冊	明治2(1869)年	松平文庫(福井県立図書館保管)
12-2	明新館開館式の座席図	1枚	明治2(1869)年	松平文庫(福井県立図書館保管)
13	旧御本丸御建物福井中学校	1枚		松平文庫(福井県立図書館保管)
14	福井藩学校規程	1冊		当館蔵
15	古写真(旧福井城瓦門及御本城橋)	1枚	明治4(1871)年頃	福井市春嶽公記念文庫
16	御書籍類武学所諸役輩宅拝借留	1冊	明治2(1869)年	松平文庫(福井県立図書館保管)
参考	スナイドル銃	1挺	明治元(1868)年	当館蔵
17-1	ロスセル航海案内書〈日下部太郎のサイン入り〉 (The Mariner's daily Assistant, W.H.ROSSER)	1冊	1865年刊	当館蔵
17-2	米国改革教会便覧〈コーウィンのサイン入り〉 (A Manual Reformed Church in America, Edward Tanjore CORWIN)	1冊	1869年刊	当館蔵
17-3	日下部太郎のノート〈グリフィス夫妻のサイン入り〉	1冊		当館蔵
18	グリフィス雇用契約書	1式	明治3(1870)年12月6日	福井市春嶽公記念文庫
19	グリフィス宛松平春嶽書翰	1巻	明治4(1871)年3月13日	福井市春嶽公記念文庫
20	古写真(グリフィスと学生たち)	1枚	明治4(1871)年頃	福井市春嶽公記念文庫
21	グリフィス著『皇国』	1冊	1876年刊	福井市春嶽公記念文庫
22	明新中学開校式 松平春嶽・茂昭両祝辞	1枚	明治12(1879)年1月	当館蔵
関連展示 福井藩の天文知識(企画展に併設)		※福井市自然史博物館・セーレンプラネットとの連携事業		
関連1	論動器(Tellurium、三球儀)	1台	明治3(1870)年	越葵文庫
関連2	19世紀前半に記録された彗星〔図版〕 (Mechanical Philosophy, Horology, and Astronomy, William. B. CARPENTER)	1冊	1857年刊	当館蔵

※福井市春嶽公記念文庫は当館蔵、越葵文庫は当館保管の資料です。

【展示替】 No.15 7月21日から8月18日まで原本を展示し、8月19日から9月18日までは印刷パネルを展示します。
No.20 7月21日から8月18日まで印刷版を展示し、8月19日から9月18日までは原本を展示します。

【次回の展示】

企画展 武具のデザイン

9月21日(木)～11月12日(日)
【休館日】10月11日(水)、12日(木)
11月1日(水)、2日(木)

松平家史料展示室 展示解説シート No.107
平成29年7月21日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 山田裕輝、印牧信明

印刷 宮本印刷